

## 2015（平成 27）年度自己点検・評価報告書の公表にあたって

全学自己点検・評価委員会委員長  
学 長 馬場 善久

『2015（平成 27）年度自己点検・評価報告書』を公表するにあたり、自己点検・評価活動の概要について一言ご紹介申し上げます。

今年度は、以下 3 点の評価項目を掲げて、点検・評価活動に取り組みました。

### （1）「学習成果の可視化」に向けた取り組み

昨年度に続き、今年度の主要評価項目として、専門科目における「学習成果の可視化」に向けた取り組みについて、点検・評価を行いました。すでに先行している共通科目の事例を参考として、各学部等の特色を生かした取り組みが行われました。他の学部のモデルとなるような実践も見られ、着実に「学習成果の可視化」が進んでいます。

### （2）認証評価結果に関する事項

本学は 2014（平成 26）年度に、大学基準協会の認証評価を受け、翌年 3 月に評価結果を受領しました。評価結果で指摘された努力課題等を抽出し、今年度の評価項目として設定しました。点検・評価の結果、改善に向けた方策を検討している事項や、すでに課題を改善している事項もあり、協会からの指摘に対して積極的に取り組んでいる状況が明らかとなりました。

### （3）教職課程における点検・評価

今年度より文部科学省は、教職課程の質保証を目的として、教職課程を持つ大学に対して、卒業者の教員就職状況など教員養成に関する情報を公開することを義務付けました。これを受け、本学の教職課程を有する学部・研究科において、理念・目的、カリキュラムおよび学生支援等の評価領域を定め、点検・評価を行いました。その結果、多少の情報の精粗は見られるものの、情報公開への準備は着実に進んでいることが確認できました。

今年度の活動の締め括りとして、3 月 8 日（火）に本学中央教育棟で、全学自己点検・評価委員会主催の「創価大学内部質保証セミナー」を開催しました。大学基準協会から講師を迎え、学部長・研究科長等の教職員 50 名が参加し、内部質保証システムへの共通理解を深めることができました。セミナーでは、内部質保証の究極の目的は、学生の学習成果の向上であること、また第 3 期認証評価における大学評価の基本方針は、内部質保証が有効に機能しているかが軸になることが示されました。

学習成果の向上を目指して、創価大学における内部質保証システムの更なる充実を目指してまいります。

最後になりますが、日頃からの本学へのご支援に感謝申し上げますとともに、本報告書をご高覧頂き、本学の活動に対して皆様の忌憚のないご意見を伺うことができれば幸いです。

2016 年 3 月